

別添資料【著者紹介】



【原作・文】新井^{あらい}満^{まん}

1946年、新潟市生まれ。作家、作詞作曲家、写真家、日本ペンクラブ顧問、長野冬季オリンピック開閉会式イメージ監督など、多方面で活躍中。小説家としては、1988年『尋ね人の時間』（文藝春秋）で芥川賞を受賞。

2003年に発表した写真詩集『千の風になって』（講談社、朝日新聞出版）と、それに曲を付け、自ら歌唱したCD『千の風になって』（ポニーキャニオン）は、現在もロングセラーを続けている。2007

年、同曲でレコード大賞作曲賞を受賞。『この街で』『富士山』『ふるさとへの山に向ひて』の作曲者でもある。著書、CD多数。近著に『希望の木』（大和出版）、『自由訳 方丈記』（デコ）、『なぜ生まれてきたのか』（海竜社）、『神様のシンフォニー』（講談社）、『CDブック 春や昔 正岡子規のふるさとシンフォニー』（学校図書）、『生きている。ただそれだけで、ありがたい』（河出書房新社）など。



【絵】山本^{やまもと}二三^{にぞう}

1953年、長崎県五島市出身。テレビアニメーション「未来少年コナン」（1978）で自身初の美術監督を務め、以降「天空の城 ラピュタ」（1986）、「火垂るの墓」（1988）、「もののけ姫」（1997）など、美術監督として数々の名作に携わった。

近年では、フジテレビ系土曜プレミアムにて放送された「ミヨリの森」（2007）の監督、NHK総合の環境特番のひとつとして放送された「川の光」（2009）の美術監督を務める。迫力ある独特の雲の描き方でも知られ、ファンの間では「二三雲」と呼ばれている。

また、「時をかける少女」（2006）で第12回AMD Award'06大賞／総務大臣賞を美術監督として受賞。

そして2011年、神戸ビエンナーレ2011 プレ・イベント「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展」が神戸市立博物館で開催され、来場者約8万5千人と好評を博し、以降も全国の巡回展を実施・予定している。

現在、美術スタジオ 絵映舎代表として、また美術監督・演出家として新井満氏原作の写真詩集「希望の木」のアニメ化も準備中である。

五島市ふるさと大使

京都造形芸術大学 アニメディレクションコース 客員教授

東京アニメーションカレッジ専門学校 講師